

万博に向けた、交通インフラ整備

NOW

開催まで半年を切った2025年大阪・関西万博。会場への主要アクセスとなる鉄道、道路などの交通インフラの整備は急ピッチで進んでいる。今回のレポート・最前線は、その進捗を伝える。



北港テクノポート線

万博開催に先駆けて開業する夢洲駅

北港テクノポート線南ルート(コスモスクエア駅～夢洲駅間)は、平成20年度より事業を休止していたが、万博開催決定などを契機に令和2年度から工事を再開した。令和6年7月の時点で駅舎部の開削工事や線路部のシールド工事が概ね完成、鉄道事業者によるレールや建築・設備工事も順調に進捗しており、8月からは試運転も始まっている。今後、国の開業検査などを経て万博開幕前に夢洲駅までの延伸区間を開業させる。

夢洲駅の開業日は、準備作業を行う万



博関係者などの往来にも対応するため、万博開幕の2カ月以上前の令和7年1月19日の開業が予定されている。なお、北港テクノポート線北ルート(夢洲駅～(仮称)新桜島駅間)については、夢洲1期開業以降の夢洲2期・3期開業における段階的な土地利用の状況に応じて、整備方針を検討していく。

(取材協力：大阪港湾局 計画整備部 進捗状況は2024年9月現在)

淀川左岸線(2期)

万博会場へのシャトルバス運行に向けた整備が進む

淀川左岸線(2期)は、政府の都市再生プロジェクト「大阪都市再生環状道路」の一部を構成する道路で、新御堂筋に接続する「(仮称)豊崎IC」と「海老江JCT」間の約4kmを結ぶ。事業全体では令和14年度の完成を目指して進められているが、万博開催時に新大阪駅や大阪駅、中之島

●(仮称)豊崎ICの整備状況

(新大阪駅⇄淀川左岸線⇄万博会場)
(仮称)豊崎ICは淀川左岸線(2期)の東端にできるインターチェンジで、新御堂筋(国道423号)と接続する。現在、(仮称)豊崎入路(新御堂筋⇄左岸線2期への入口)と(仮称)豊崎出路(左岸線2期⇄新御堂筋への出口)の2本の橋の架設工事など、新大阪駅からのシャトルバス運行に向けての整備が進められている。



●(仮称)大淀ICの整備状況

(大阪駅⇄淀川左岸線⇄万博会場)
(仮称)大淀ICは、鉄道の一大ターミナルである大阪駅に最も近い位置にある。従来、十三バイパスへの乗り入れ口として利用されてきた橋を淀川左岸線(2期)への入口口として使用するため、新たに十三バイパスへの乗り入れ口となる橋を東側に架けた。引き続き、(仮称)大淀入口・出口の工事が進められている。



万博時に計画されている自動運転の実証実験を実施
万博会場までのシャトルバス運行ルートとなる淀川左岸線(2期)の建設中の区間で、バスの自動運転(レベル4)の実証実験が行われた。万博開催時にも淀川左岸線(2期)区間ではレベル4相当の自動運転が行われる予定になっている。

会場周辺道路

万博会場の工事期間中や開催時の交通渋滞を防ぐと共に、夢洲コンテナターミナルを利用する物流交通等への影響を最小限に抑えるため、万博会場となる夢洲および周辺道路の車線拡大やボトルネックとなる交差点の高架工事などの交通インフラ整備が行われている。

(取材協力：大阪市建設局 臨海地域事業推進本部 進捗状況は2024年8月現在)



- 1 観光外周道路(新設)**
物流車両と観光車両の分離を図り、観光エリアへの円滑なアクセスのために整備される道路で、万博開催時は時計回りの一方通行の道路となる。
- 2 夢洲北高架橋(新設)**
夢洲大橋方面と万博会場への通行をスムーズにするための高架橋。令和6年8月から工事車両の通行を開始した。
- 3 夢洲南高架橋(新設)**
夢洲トンネル方面からの物流車両と観光車両の分離を図るための高架橋。
- 4 舞洲東高架橋(新設)**
万博開催時、舞洲から此花大橋方面の右折交通について立体交差化を行う高架橋。
- 5 此花大橋**
大阪市此花区北港と舞洲を結ぶ橋で、4車線を6車線に拡大(令和4年10月に供用開始)。
- 6 夢洲大橋**
夢洲と舞洲の間に架かる橋で、4車線を6車線に拡大(令和4年8月に供用開始)。

万博会場への交通アクセスについてNEWS

(2024年10月現在の状況)

万博開催中の会場アクセスは、鉄道とシャトルバスの公共機関が中心となり、これに船などの水路も加わる予定で、**マイカーで直接会場に乗り入れることはできない**。マイカー利用の場合、協会整備の会場外駐車場に止め、そこからバスに乗り換えて会場に向かう「P&R(パーク&ライド)方式」を利用することができる。



▶ 4つのアクセス方法

電車でのアクセス

万博会場へ電車ですぐアクセスする方法は1つのみ。大阪メトロ中央線のコスモスクエア～夢洲間が延伸され、最寄駅として『夢洲駅』が新設される。



夢洲駅地上口イメージ図

バスでのアクセス

シャトルバスは大阪・兵庫の主要駅から運行するほか、大阪国際(伊丹)空港・関西国際空港からの直行便も運行の予定。



運行予定のシャトルバス

現在予定されている主要駅
●JR(大阪駅、新大阪駅、桜島駅、天王寺駅)
●私鉄駅(なんば、上本町、中之島、堺、堺東、尼崎)
(また、一部のルートバスには自動運転実証実験走行なども計画されている。)

水上アクセス

アクセスの利便性と水都大阪を楽しんでもらおうと、会場の夢洲と関西各地を船で結ぶ5つの水上ルート(中之島・十三・堺東・神戸市・淡路島)が運航予定。



P&R(パーク&ライド)方式によるアクセス

パーク&ライド駐車場について

会場へのマイカー乗り入れは原則禁止のため、会期中は3ヵ所(舞洲・尼崎・堺)に合わせて1万台規模の会場外駐車場が設置される。マイカー利用希望者は、事前に申込の上、駐車場よりシャトルバスに乗り換え、会場へ向かうことになる。

(予約方法)

会場外駐車場を利用するためには、マイカー車両とETC情報の事前登録が必要となる見込み。予約が完了すれば駐車場の利用は可能だが、様々な条件によりお得な価格で利用できるインセンティブもあるようだ。



舞洲には、現在整備中の会場外駐車場(舞洲万博P&R駐車場3000~6000台)が予定され、二輪車などの駐車も可能。